

学校経営推進費 評価報告書（最終）

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	生徒の学力の充実
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 難関・中堅私立大学進学者数の増加 ・ 基礎学力の定着度を測る外部学力調査（ベネッセ・進路マップ実力診断テスト）における生徒学力レベルの向上 ・ 授業アンケートにおける生徒の授業集中度・満足度の向上
計画名	渋高+S！学び充実プロジェクト

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>2 確かな学力の育成</p> <p>(2) 「わかる授業・できる授業」をめざした授業改善の取り組み</p> <p>ア 授業改善に向けた教員研修、研究授業の充実に努める。</p> <p>イ 分かりやすい授業を進めるため、ICT機器や視聴覚機器の活用を進める。</p> <p>ウ 教科ごとの学力の到達目標と達成へのロードマップを策定する。</p>
事業目標	<p>これまで講義室3台、移動用4台のプロジェクターを整備してきたが、十分とは言い難い。プロジェクターを積極的に授業で活用している教員もおり、ICT機器の充実を望む声が上がっている。普通教室にICT機器を整備することにより、国・社・数・理・英5教科を中心に、教材の視覚化を通して分かりやすい授業を追及する。また、総合的な学習の時間での調べ学習の発表に活用し、生徒の学習意欲を高め、基礎学力のより確実な定着と応用力を備えた学力の向上を図る。3年後に、3年当初6割を占める大学進学希望者から、関西難関・中堅8私大現役合格15名を実現する。</p>
整備した 設備・物品	電子黒板内蔵短焦点プロジェクター24台、書画カメラ19台
取組みの 主担・実施者	<p>主担：学び充実プロジェクトチーム「学び充実PT」</p> <p>実施者：各教科の5割の活用を予定</p>
本年度の 取組内容	<p>本事業により設置したプロジェクターを活用した授業は定着し、多くの教科が授業を行っている。教員間の授業見学において活用方法を学びあっている。また、中学生とその保護者対象の学校説明会においてもプロジェクターを使用した授業のデモンストレーションを行っている。</p> <p>昨年度の学び充実プロジェクトチームによるICT機器や視聴覚機器の使用方法についての問題点や要望の調査結果を受け、本年度初めに普通教室の遮光カーテンの整備、ノートパソコン・タブレットPC計5台を追加するなど、本事業により整備した設備・物品をより活用できる環境を整えた。</p>
成果の検証方法 と評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関西8私大現役合格者10名以上。 ・ 進路マップ実力診断テスト（4月）の国数英3教科C3以上の人数割合を3年次65%以上。 ・ 「授業アンケート『授業中は、集中して先生の話聞き、学習に取り組んでいる』」「授業アンケート『興味・関心を持つことができた』『知識・技能が身に付いた』を75%以上。
自己評価	<p>評価指標として挙げた各項目については以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関西8私大現役合格については、実人数で関西大学3名、近畿大学3名、京都産業大学8名、龍谷大学2名の計16名であった。（◎） ・ 進路マップ実力診断テスト（4月）の国数英3教科C3以上の人数割合は3年次87.5%以上であった。（◎） ・ 第2回授業アンケート（12月実施）では、『授業中は、集中して先生の話聞き、学習に取り組んでいる』74.8%、『興味・関心を持つことができた』74.5%、『知識・技能が身に付いた』75.0%であった。（○）
事業のまとめ	<p>難関・中堅私立大学進学者数の増加については、本事業実施初年度の平成27年度10名→28年度10名→29年度16名と増加している。大学進学希望者率は若干減少傾向にある中で、成果をあげることができたと思われる。</p> <p>教員の「わかる授業・できる授業」をめざした授業改善の取り組みが進み、評価指標にはないが学校教育自己診断の生徒による肯定的評価はICT活用については平成27年度60.5%→28年度77.7%→29年度79.3%と大きく増加し、授業理解については平成27年度項目なし→28年度65.4%→29年度67.8%と増加している。ICT活用と授業理解についての評価の差を埋めるためには、活用方法やデジタル教材の開発が必要であると考えられる。</p> <p>総合的な学習の時間においてもICT機器や視聴覚機器を活用したプレゼンテーションを行うことにより主体的・対話的で深い学びが進み、課題意識を持った有志生徒が全国大会で発表を行うなどの大きな成果をあげることができた。</p>